

うた ひつじの詩だより

2010.4.1
毎月発行 No.109
この更にはお返しの品と
いっしょにお届けします

子供達に言ってみてみたいことがあります。

わが家にたまごの形の小さいドームができました。森に落ちていたオレンジを見つけて、森の生き物たちが「あれは何だ」と不思議に思って、結局おひさまのたまご？と話し合った可愛さにあふれる絵本があります。それを思い、「おひさまたまご」と名付けてしまいました。

私たちが月1回している、子供達のお話と手仕事の会（ペレのこひつじ）で、先日、その「おひさまたまご」に入って、ささやかな記念の品を手渡すという1年の締めくくりをしました。子供達は本当に大喜びをして、こちらの意図など関係なく、窓から出たりよじのぼったり、大冒険して、楽しく遊んでくれました。



小さな手のひらにのるたまごは、見れば見る程美しい形をしています。その中にこれから生まれるすべてが組み込まれていること不思議に気がつきます。小さな宇宙です。小さなたまごひとつの中にも、宇宙がある、なら、おひさまたまごの中にいる何人もの子供達、そのひとりひとりの中に、どのくらい不思議ないのちの種があるのでしょうか。

宇宙は空にあるだけではなく、大きさで計るものでもなくて、いのちが与えられているものすべての中に平等に与えられているということ。うまく言えませんが、たまごにこじつけて、宇宙の中に在る、いる不思議を、子供達に話してみたかったです。

(右上のイラストは櫻井雅子さん作)

佐々木奈々子

佐々木奈々子のワークショップ ウォルドルフ人形と羊毛の手仕事「北欧の夏至祭の風景」



4月22日、5月27日、6月24日の3回（いずれも木曜日、13:00～15:00）、朝日カルチャーセンター新宿にて。

今回のワークショップでは特別に夏至祭らしい子どもの花の髪飾りや、マイストング（メイボール）も作ります。通常のキットにはない、特別な夏至祭の子供たちを作るチャンスです。どうぞふるってご参加ください。受講料は一般 11,340 円です。お申し込み、お問い合わせは朝日カルチャーセンター新宿までお願いいたします。(Tel: 03-3344-5450)

巡回展 「ウォルドルフ人形の四季」 -2009、スウェーデン大使館作品展より-

4月21日(水)～26日(月) カルテット 刈谷市高倉町 2-508 Tel:0566-28-3933

★4月24日(土)「ヨアキム人形」作りワークショップを行います。

5月2日(日)～3日(月) ばふ宇治店 宇治市宇治妙楽 31 Tel: 0774-24-4321

★5月3日(月)「ばあばアマリア」作りワークショップを行います。担当：中野久仁子

その他の作品展

4月1日(木)～11日(日) ERK (エルク) のウォルドルフ人形教室作品展

本荘グランドホテル1F プテック ルルブルー 由利本荘市岩瀬下 254 担当：生守恵利子

4月21日(水)～25日(日) スペース遊「春の宴」展 11:00～17:00 (最終日 16:00)

ギャラリースペース遊 相模原市千代田 2-2-15 メイプルビル2F 担当：宮崎智子

連載 シュタイナー学園の『手の仕事』 — その4 手の仕事専科教師 友岡礼子

すらっとした身体をもち、「少年・少女」と呼ぶに相応しいのは五年生です。思春期前の憩いの時、調和のある美しい時期です。毎朝唱える詩はそれまでとは変わり、「私は、世界に目を向ける。」から始まります。エポック授業ではギリシア時代に入り、手仕事では動物を作ることと5本の棒針の編み物をします。

四年生の動物学後の動物制作は、平面から立体にしていく仕事で、布を中表に合わせて縫い、それをひっくり返して作る言わば見通す仕事でもあります。作る動物は四本の脚で立つもので、それは動物学、植物学、鉱物学を経て、八年で学ぶ人間学へと繋がっており、六年生で作る人形の直立の姿勢とも関連しています。もう一つの課題である5本針を使った編み物は、棒針を輪にして手袋を編みます。その過程はギリシア神話にも似て、ぐるぐる回って編んでいくと迷宮の中に入っていく、出口が分からなくなることがあります。そのとき子どもたちは、今何処を編んでいて、正しい道はどの方向へ進むのかを考え、そして「こうしたから、このようになった」という因果関係をも手仕事で知ることになります。



既に読者の方々は、カーリン・ノーイッシュさんやいずみの学校の先生による、シュタイナー学校での人形作りのことをご存知ですが、当学園でも六年生になると人形を作ります。動物のプロセスと同様、外側と内側のつくりや中身の出来具合によって、人形のプロポーションは変わってきます。また、作り手の自分がしっかりしていないと、左右同じ大きさの手袋はできないのと同じで、手仕事を通してどのように自分の内側を保つかを体験することができるのです。

佐々木奈々子先生の人形の型は、実に美しいプロポーションになりますが、当学園では六年生で学ぶローマ時代や上述の理由で、子どもたちが型も作り立体にしています。頭部から身体のプロポーションを算出し、自分の民族に属する人形を作ります。従って大抵は、日本の着物を作って着せています。



この動物や人形を作ることによって子どもたちは随分変わっていき、出来上がった人形を慈しむ姿に私自身いつも感動させられます。

(写真：5年生 手袋、6年生 人形)

これまでスウェーデンひつじの詩舎の直営店 スペース「ペレのあたらしいふく」は毎週木曜日～土曜日(祝日除く)を営業日としておりましたが、2010年6月1日より下記の通り営業日を変更させていただきます。お越しの際はお間違いないようにお気をつけください。

営業日： 毎月第1・第2週の月曜日～土曜日(祝日除く) 10:00～16:30

2010年6月の営業日： 1,2,3,4,5, 7,8,9,10,11,12日

また、スウェーデンひつじの詩舎の通信販売の商品発送は、月曜日～金曜日のみとさせていただきます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

担当 佐藤治子

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ

<http://www.s-hitsujii.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥

スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

相談窓口(金)担当：寺田裕子 045-881-7035